

第7回長野市公共施設適正化検討委員会 議事録	
開催日時	平成27年4月21日（火） 13:30～15:10
場 所	長野市役所第一庁舎8階 第一委員会室
出席者	[委員] 松岡委員長、神田副委員長、太田委員、片山委員、清水委員、中屋委員、西堀委員、西村委員 [事務局（行政管理課）] 寺澤総務部長、丸山行政管理課長、村上行政管理課長補佐兼公共施設マネジメント推進室長、大塚行政管理課長補佐、牧野行政管理課係長、渡辺行政管理課係長、上條行政管理課主査
議 事	1. 議 事 (1) 長野市公共施設マネジメント指針（素案）【全体】について (2) 今後のスケジュール等について

【次 第】

- 1 開会
  - 2 委員長あいさつ
  - 3 議 事
    - 審議事項
      - (1) 長野市公共施設マネジメント指針（素案）【全体】について
      - (2) 今後のスケジュール等について
  - 4 その他
- 【閉 会】

【開 会】

委員長あいさつ

〔松岡委員長からあいさつ〕

議 事

(1) 長野市公共施設マネジメント指針（素案）について

〔資料により、長野市公共施設マネジメント指針（素案）【全体】について、事務局より説明〕

委 員 長 時代の変化によって、個々の公共施設の役割が変質しているということが指針に記載されていますが、そういったことを改めてチェックして公共施設の量の最適化と長寿命化を検討していくのは、次の段階になるのでしょうか。

事 務 局 この指針は、総論として長野市の大方針を決めるということになります。個々の施設の設置目的等については、今後、ご議論していただく中で、設置の経過、現状を詳細にご報告申し上げ、分析し、今後の方向性を立てていくことになると思います。

また、都市計画や人口減少対策などの施策との関連も公共施設マネジメントは図っていかなければなりませんので、それらも踏まえながら個々の施設のあり方、全体としての床面積の縮小に向けてどうすべきか、基本方針を踏まえて議論していくようになります。

す。

委員 概要版の施設分類別の方向性の「2. 生涯学習・文化施設」ですが、本編では、集会施設が併せ持つ地域コミュニティ機能を維持していくために、地域コミュニティの核となる学校施設との複合化についても検討します。という文言が入っていますし、「5. 体育施設」と「6. 保健福祉施設」の中には、学校施設のことを書いてあるので、同様に記載したほうが一般市民の方は理解しやすいと思います。

事務局 概要版の「2. 生涯学習・文化施設」の中に、地域のコミュニティの核である小学校との複合化ということで、小中学校という言葉を入れたいと思います。

委員 概要版の「9. 市営住宅等」の施設分類別の方向性についてですが、人口動態や将来の都市計画を見極めた上でという文言を付け加えたほうがいいのではないかと思います。

委員長 効率的な都市の運営をしていくには、都市計画との整合性という面で、違う方向の表現ではないと思いますが、どうでしょうか。

事務局 市営住宅はすでに、「公営住宅等ストック総合活用計画」という独自の計画を策定しています。人口動態、将来的な都市計画を見極めた上でという文言は、趣旨は変わりませんが、既に計画がありますので、包括外部監査人の意見にもありましたが、その計画は着実に進めていくということになります。

委員長 公営住宅等ストック活用計画を策定しているのなら、その計画を知らない人は策定前だと思うかもしれないので、いつ策定したのか入れるべきだと思います。

事務局 わかりました。本編へ策定年次と期間を入れたいと思います。

委員 分かり易くするために公共住宅等ストック総合活用計画によるを（）書きではなく、人口・世帯数の減少に合わせ、公共住宅等ストック総合活用計画に基づき統廃合・用途廃止～という文言にしたらいいのではないのでしょうか。

事務局 そのようにしたいと思います。

委員 施設の廃止など、どうしても暗い内容になってしまうので、特に市民の方は最初に見る文章になりますから、明るい材料をもう少し散りばめられないでしょうか。市民の方が最初に見る概要版は、できるだけ前面の目立つところに、明るい文言を書いていたらいいと思います。

事務局 本編の基本理念で、人口減少に応じた単なる抑制にとどまることなく、子どもから高齢者まで、多くの市民の皆さまが、心身を健やかに保ちながら、安心して毎日笑顔で暮らし続けることができる「活気あふれる元気なまち“ながの”」を創造していかねればなりませんといった内容がありますので、この部分をもっと前面に出すようにしたいと思います。

委員長 こちらの施設は削ったけれども、こちらは眠っているものを掘り起こして使うよう

にしたので、便利になったし、豊かになったということになればいいのだと思います。  
全部入れられるかどうかわかりませんが、委員の皆さんからこういった明るい表現を入れたらどうかという提案をいただければと思います。

委員 行政の役割と市民の役割というものがあって、中には市民の利用率があれば存続という考えに転換できる施設もあるわけですから、むやみやたらと今ある施設を潰すということではなく、有効活用が図られて、この施設があって良かったなという部分をそれぞれの住民が享受できれば、それは一番素晴らしいことだと思うので、施設の有効活用について、地域の住民が集まって考えていきたいと思いますという投げ掛けがあってもいいのではないかと思います。

それから、概要版ですが、「3効率的運営と資産活用」の一番最後の項目で、遊休施設は売却を含め活用策を検討し、広告事業や命名権の導入など広告料収入の拡充に積極的に取り組みます。とありますが、これは「し」が入ると文章が繋がってしまうので、ここへ主語を入れて文章を分けていただいたほうがいいと思います。

また、概要版の「2計画的保全で長寿命化」の部分で、ライフサイクルコストとありますが、本編には説明文がついていますので、注釈を付けて、ライフサイクルコストがわかるような表現を入れていただいたほうがいいと思います。

委員長 初めて見る人がいろいろ考えなくても済むようにしてもらおうということは大事だと思います。このことは資料全体にわたって言えることです。

委員 長野市では、昭和40年代から50年代にかけて、人口の増加、市民生活の向上などに対応するため、多くの公共施設を整備してきましたという書き出しではなくて、もっと柔らかいほうがいいような気がします。

つまり、この指針は、我慢してくださいということを書いているわけではなく、市民サービスを最優先をしているのだけれども、適正にしたいということをお願いしたいわけですよ。

委員長 戦後の本当に大変なところから、いろんなものを整備して、みんなの生活が良くなって、市民生活を維持しながら、質は落とさずになんとかしていくためには、いろいろ見直さなければならぬわけです。

委員 ですので、施設を縮減して統合することによって、新たに出来たスペースをどう活用するのかというようなことが明るい形で出てくれば、市民の方は納得するのではないかと思います。そういうことが書いてあると思うのですが、それが、概要版にうまく表現できていないと思います。

委員長 ハードは減らしていかざるを得ないのであれば、システムとかソフトでカバーしなければならないので、厳しい部分と新たな明るい部分の両方の内容を盛り込まなければいけないわけですから、少なくとも厳しい部分は盛り込んであるので、明るい部分を盛り込めばいいと思います。

委員 公共施設を払い下げたことによって、出てきた費用を有効活用し、こういうことをすることによって、ゆとりが出来て、もっと楽しめる社会が出来ますというようなところも、入れたほうがいいのかもしれませんが、それから、公共施設というのは、ソフトがあって、そのソフトを活かすためにハードが出来て、またそれを使うソフトがあるわ

けですから、ソフトの部分をどう取り上げるかだと思います。人口が減少していることによって、生まれるメリットというものが何か示せばいいのですが。

委員長　　そういうことですね。何もマイナスばかりではありませんから。

委員　　前提として施設を縮小していかなければいけないという方向性は、市民の中でもアンケート結果に出ているように総意だと思うので、もう少し将来に向かってより住みやすい活気あるまちづくりにしていくという内容にするということだと思います。

委員　　まず、長野市の現状を知り、理解し納得することが大事で、できるだけみんなの知っている分かりやすい言葉を使うと、マイナス面でも長野市は今こうなのだということが情報として入ってくると思います。人口減少社会を迎える中で、公共施設を見直して、無くすということではなくて、複合化等の新しい長野市に向けた考え方、そういうものを募集するというような流れに持っていくといいのではないかと思います。

委員　　昨年、中山間地を視察させていただき、がんばっている若い人もいて感心しました。誰もいないから仕方がないではなくて、こういう施設があるからそれを利用して、こういう風にしたから人が増えたというように、点が線になり面になったら、自然と広がっていくのではないかと思います。

委員長　　そうありがたいと、みんなきっと思っていると思います。中山間地でいろんなことをやる時は必ずそれを期待してやっていると思います。

## (2) 今後のスケジュール等について

〔今後のスケジュール等について、事務局より説明〕

委員　　指針をホームページに掲載するわけですから、指針に書かなくてもホームページの画面に直接書いて、面白そうなパブコメがあるということで入ってくれば数も増えると思います。そういう工夫もあるのではないですか。

事務局　　ホームページに掲載する際には、興味を引き付けるような形で、工夫していきたいと思っています。

委員長　　文字だけの説明だけではなくて、キーワードの字の色、フォントを変えたり、アンダーラインを引いて、その部分をクリックすれば、わかり易い説明や図表が出て理解の助けになり、また元に戻って読んでいくというような工夫はできるのではないかと思います。

出来るだけ市民の皆さんに興味を持っていただいて、理解していただくことだと思います。

委員　　施設が課題ということと、(表現が) やわらかくなっていないという2つがあると思うのですが、基本理念の文章を持ってきたらどうかと思います。

委員　　生産年齢人口が縮小することによって、財政が大変に逼迫していくから、歳出額を抑えるためには、公共施設を現状の人口減少とともに適正に削っていくかなければいけな

いということをも市民に理解してもらうためのパブコメだということだと思っておりますが、将来的には魅力のあるまちづくり、人が人を呼び込むようなまちづくりをどう作っていくのかということも少し入れておいたほうがいいと思います。

委員 この概要版にわかりやすい適切な図が入ったほうがいいのかなと思います。文章ばかりだとちょっとわかりづらいと思います。

事務局 ご指摘いただきましたので、本編から人口の減少の推移、あるいは、財政の状況、それから施設保有量の視覚的なグラフ等を概要版に載せるようにします。そのほうがわかりやすいと思います。

委員長 では、事務局で資料を修正してもらい、委員の皆さんに送ってもらって、ご意見をいただくということでどうでしょうか。

事務局 広報の一面の中では、概要版よりもコンパクトな形になりまして、詳しくはインターネットを見てくださいという形にもっていきます。これが通常のやり方なのですが、本日もいろいろなご意見をいただきましたので、資料を修正し、委員の皆様にお送りして、ご意見をちょうだいした上で決定し、5月15日からのパブコメに臨んでいきたいと思っております。

副委員長 本編と概要版の関連性で、本編に載っていないことが概要版に書いてあるということはないという考え方だと思いますが、そうでなくてもいいのですか。

事務局 概要版は本編のポイントをまとめたという形です。

ただ、概要版の12、13ページは、パブコメを行うためのページになっていますので、本編には掲載されていない内容です。それから、11ページも本編には載っていないのですが、こういったイメージで次に進めていきますということでご理解をいただくために載せたページです。10ページまでの分については本編から抜粋ということになっています。

委員長 概要版なので本編との整合性がなければいけませんから、文章を修正する際にもう1度確認してください。

概要版につきましては、皆さんのところへ訂正版をお送りするという話でしたので、届いたら必ず見ていただいて、何かあればお返しいただくということでお願いします。そういったことで、ご対応をお願いしたいと思います。

それでは、これにて審議を終わらせていただきます。

## 【開 会】

事務局 第8回の検討委員会の視察につきましては委員の皆様には改めまして事務局より資料等をお送りいたします。

それでは、以上をもちまして、「第7回長野市公共施設適正化検討委員会」を閉会します。